

＜フィリピン事業（子どもの家）＞「子どもの家」に新たに5名が入所



ICAN フィリピン事務所
Marites Estabillo
～プロフィール～

2002年～2015年までアイキャンで勤務後、他のNGOを経て、2021年2月より再入職。子どもの家をはじめとする路上事業に従事。

3月26日、アイキャンが運営する児童養護施設「子どもの家」に、新たに8歳から12歳までの5名の子どもが入所しました。子どもの家は、日々多くの方々に支えられながら、子どもたちが本来享受すべき権利が守られ、将来を切り開いていく場として2016年より運営されてきました。ここに住む子どもたちは、栄養価のある食事や安全に眠る場所を得るだけでなく、学校に通い、愛情を注がれながら健やかに成長することができます。

子どもの家で暮らす子どもたちはいずれも、入所前は家族の死亡や育児放棄などにより、過酷な環境の中、小さな身体で様々なものを背負って生きてきた元路上の子どもたちです。今回、新しく入所したトイ君（10歳・仮名）もその一人です。親に見捨てられたトイ君は、弟の面倒を見ながら生活してきましたが、昨年、デング熱で弟の命を奪われてしまいました。一人残されたトイ君は、抱えきれないほどの疑問や痛みと闘いながら子どもの家にやってきました。ここでは、トイ君の話に耳を傾ける存在がいることで、過去の経験や悲しみ、時には夢を共有してくれるようになり、他の子どもたちと仲良く過ごしています。

しかし子どもたちの中には、初めは自分の名前を覚えてくれなかったり、過去の辛い経験も話せなかったりするほど心を閉ざしていた子もいました。信頼関係を構築し本物の愛を分かち合うには時間が必要です。それでも、子どもたちは、子どもの家で初めて「家」という存在を持ちます。私たちは、ここが子どもたちの居場所となるように、日々のお世話だけでなく、家族としてたくさんの愛情を注ぐよう心がけています。子どもの家に長年住むトム君（仮名）は、「新しい仲間が増えて嬉しいです。僕が先輩になるのでしっかり模範になるように頑張ります。」と語ってくれました。子どもたちは、子どもの家での生活を通して徐々に自尊心を高め、

ともに暮らす仲間と支え合いながら、過去の苦しみを一つ一つ乗り越えていきます。こうした子どもの家の子どもの存在は、今も路上で暮らす子どもたちにとっての希望でもあります。

子どもの家では、今後さらに多くの身寄りのない子どもたちを迎える予定です。ここで暮らす全ての子どもたちが、幸せな子ども時代を過ごし、本来持っている力を最大限に発揮して未来を切り開いていけるよう、自立訓練などを行うとともに、愛情を注いで大切に育てていきます。いつも子どもたちを応援して下さる皆様からの温かな想いは、困難な状況下でも希望を持ち、前を向いて進むための大きな励みと力になっています。新型コロナウイルスが終息し、皆様に会える日を子どもたちも心待ちにしています。



ジブチ事業

3月15日～16日/ジブチ

ジブチの市民団体の能力強化研修を実施



3月15日と16日に、ジブチの50個の市民団体（97名）に対して、今後、協働事業が実施できるように、能力強化研修を実施しました。参加者からは、「初めてこうした研修に参加したが、とても有意義な研修を実施してもら

えて感謝している。今後も研修を実施してもらいたい。」との感想が聞かれました。

能力強化事業（研修）

3月17日～20日/名古屋・長野（日本）

事業地と繋ぐ、フィリピン・オンライン研修



長野県上田高校と野沢北高校の生徒11名が、「フィリピン・オンライン研修」に参加しました。参加者からは「現地の方と交流できフィリピンに行った感覚になった。」「現地の生の声を聞き、これまでの自分の価値観が大きく崩された」等の声が聞かれ、限られた環境の中、五感を研ぎ澄ませて研修に参加してくれました。

研修に参加してくれました。

フィリピン事業

3月22日/トンド（フィリピン）

感染対策を講じて栄養改善活動を実施



3月22日、栄養状態を確認するために60名の子どもを身体測定を実施しました。また栄養改善のための給食活動は、感染対策として持ち帰りや訪問に切り替えました。地域ボランティアは、「感染者が増えているが、給食活動

は継続しなければと思い、話し合っって形を変えて実施することにしました。」と話してくれました。

ボランティア・寄付促進事業

3月27日/名古屋（日本）

大きな声で呼びかけた街頭募金



フィリピンの子どもを応援する街頭募金活動に6名のボランティアが参加し、コロナ禍で限られた人数の中、声をそろえて大きな声で呼びかけて下さいました。参加者からは、「わざわざ戻ってきて募金してくれた方がいて嬉しかった」「フィリピンの現状を伝える事ができて良かった」等といった感想が聞かれました。